

From the
People of Japan

ケニアにおける海洋災害リスク管理、 平和、安全保障のための能力強化

\$ 予算: 258,972 米ドル

🕒 実施期間: 2023年3月 - 2024年3月

開発課題

UNDPは世界的に、災害の影響を管理するだけでなく、リスクを引き起こす要因も管理するために、各国の能力を強化する必要性を明らかにしてきました。国連開発計画（UNDP）は、県レベルにおいて、機関、コミュニティ、社会的弱者、特に女性や若者の能力を構築し、その回復力を高め、気候変動を含む災害のリスクと影響を軽減することを目指しています。ケニアがコミットしている「仙台防災枠組2015-2030」は、災害リスクとコミュニティや国の人命、生活、資産の損失を大幅に削減することを目指しています。2022年、ケニアとその周辺地域は、資源をめぐる競争や政治的利害に起因する国内・跨国レベルの紛争、ソマリアとの国境沿いで繰り返される暴力的過激主義、紛争や気候変動に関連した災害による移住や人口移動など、複数の災害による複雑な人道的状況に直面していた。

このプロジェクトは、これらの主要な世界規模の枠組みと各国の優先課題に基づき、国レベル、県レベルの両方において、海洋災害、紛争、暴力的過激主義に対する備え、早期警報、早期対応、復旧のための国の能力を向上させることを目指している。

プロジェクトの目的

プロジェクトの全体目標：災害管理、平和、安全のための国家能力の強化

これを実現するために、プロジェクトは紛争分析、海上災害防止と管理の取り組み、災害への備えと効果的な対応のための計画に関する訓練を実施する。

プロジェクトの成果

災害や紛争の予防、緩和、対応のためのステークホルダーの能力強化

パートナーシップ

IPSTC

SDGsへの貢献

